


(その1)

平成28年度 一般入試① 問題 (社会)

 問題 次の文章をよく読み、あとの問いに答えなさい。

みなさんは、きょう海城中学校まで、どんな交通手段を使って来ましたか。おそらくほとんどの人が電車、バスなどを使ったことでしょう。私たちの生活は、今やこれらの交通手段なしでは成り立たなくなっています。現在一般的に利用されている交通手段としては、電車や自動車のほかに、船舶や航空機などがありますね。しかし、実はそれらが利用されるようになったのは①19世紀に入ってからのもので、それ以前はおもに人力や動物が利用されていたのです。②砂漠、草原、極地や山岳地帯など、いまだに動物が交通手段として利用されている地域もありますが、21世紀の現在において、先に述べたようなさまざまな交通手段は、先進国だけでなく③発展途上国にも広く普及しています。しかし、交通手段が近代化してもなお、人々が陸路を移動する際に欠かすことのできないものが、「道」です。そして、「道」の姿は時代とともに大きく変化してきました。また、④地域の人口や自然環境などの条件によっても、その姿や利用の特色は大きく異なります。では、私たちが暮らしている日本において、「道」はどのように広がり、現在の姿にまで発展していったのでしょうか。

日本で初めて計画的に道路がつくられたのは613年といわれており、『日本書紀』にも推古天皇が「難波より京（ここでは飛鳥をさす）に至る大道を置く」と命じたという記述が残されています（もちろん、それ以前にも人が頻りに往来するところには自然と「道」ができていました）。その後、奈良時代まではおもに西日本、⑤鎌倉時代には関東を中心に道路が整備され、その一部では石畳による舗装も行われていました。

江戸時代になると、《図》のように、⑥江戸の（X）を起点に「五街道」が整えられました。

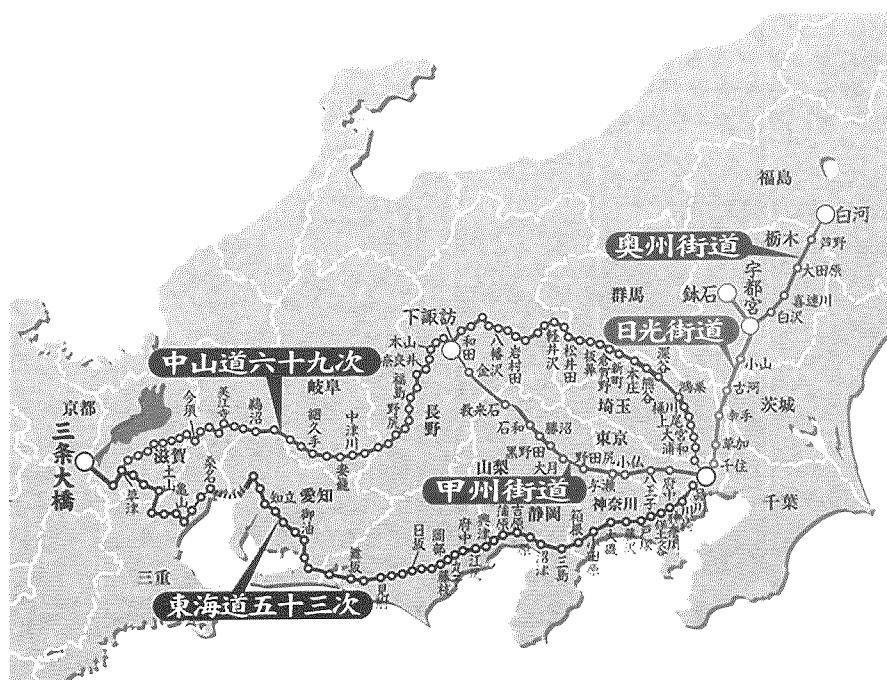
これらの街道は、はじめは幕府の役人や大名たちの⑦政治に関する情報のやり取りや交通に使われましたが、やがて多くの民衆の行き来や荷物を運ぶことにも使われるようになりました。しかし、その「道」のほとんどは表面の土がむき出しになっていました。

明治時代以降は盛んに物資が運ばれるようになり、道路の舗装率も高まってきました。そして、自動車が大衆に普及しはじめた戦後の⑧高度経済成長期には、幹線道路が次々に整備されていきました。そして、1963年には兵庫県尼崎から滋賀県栗東の間（約71km）に日本初の高速自動車道である名神高速道路の一部が開通し、それ以降、高速道路網が全国に広がっていきました。高速道路の総延長（距離の合計）が約9000kmになった現在も、首都高速道路や圏央道、東京外環自動車道などをはじめ、全国各地で高速道路の建設は続いています。一つ大きな問題点があります。それは、⑨高速道路の建設費が他国と比べて非常に高いということで、日本と同じく高速道路網が発達しているドイツと比べると、同じ距離あたりで2倍以上の費用がかかるといわれています。

それでもなお、高速道路を建設し続けているということは、やはり建設によるメリットが大きいからでしょう。たとえば、鉄道が通っていない地域へ気軽に出かけたり、トラックによって日本各地の新鮮な野菜や魚介類、肉類を運んだりするなど、さまざまなメリットが考えられます。

このように、現在の私たちの生活は「道」なくして成立しないといっても過言ではありません。そして、時代により姿は異なるものの、「道」は各時代の文化や経済の発展にとって、とても重要な役割を担っていたのです。

《図》五街道とおもな宿場



(クラブツーリズム株式会社ホームページより一部改変)

(<http://www.club-t.com/theme/sports/aruku/info/2009/kaido/map.htm>)

問1. 下線部①について、19世紀に日本で起きた次のア～エの出来事を、古い年代順に並べなさい。

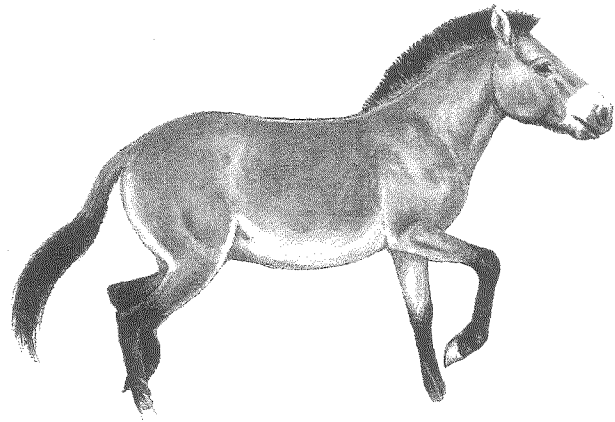
- ア. 朝鮮での内乱をきっかけに、日本と清が朝鮮に出兵し、日清戦争がはじまった。
- イ. 学制が定められたことにより、全国に小学校が設けられた。
- ウ. 欧米諸国との条約改正交渉のために、鹿鳴館がつくられた。
- エ. 大日本帝国憲法が発布され、翌年には帝国議会が開かれた。

問2. 下線部②について、砂漠と極地において輸送手段として利用される動物を、次のア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

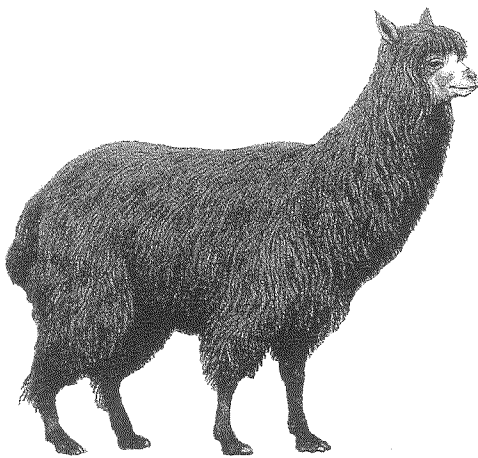
ア



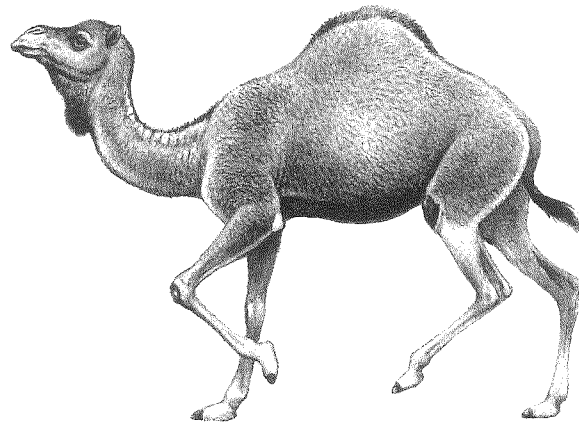
イ



ウ



エ



(『小学館の図鑑 NEOPOCKET 動物』より)

問3. 下線部③について、発展途上国を支援する活動は、国際連合の機関や NGO (非政府組織) などによって行われています。以下の説明文にあてはまる機関を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

発展途上国の子どもたちが平和で健康な暮らしを送れるように、教育・保健・衛生などの面でさまざまな支援活動を行っている。

- ア. WFP (ダブリューエフピー)
- イ. UNESCO (ユネスコ)
- ウ. UNICEF (ユニセフ)
- エ. PKO (ピーケーオー)

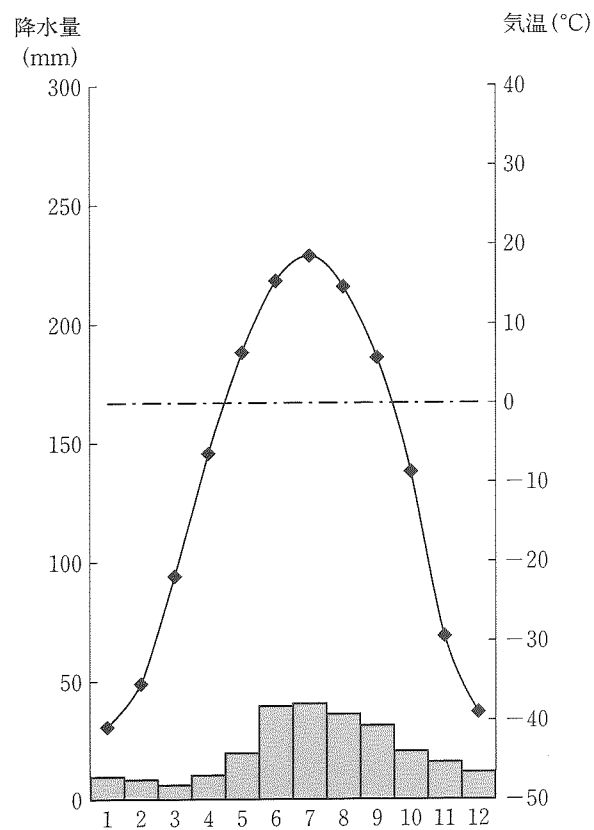
問4. 下線部④について、ロシア連邦の北東部に位置するサハ共和国では、交通機関の利用に、この地ならではの特色があります。それはどのようなものであり、また、なぜそのような特色がみられるのか、《資料1》・《資料2》・《資料3》・《資料4》から分かることをもとに、150字以内で説明しなさい。

《資料1》サハ共和国の季節別旅客輸送量(2004年)

旅客輸送量 (千人)	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
自動車輸送	22969	21417	22770	27494
船舶輸送	0	29	86	16

(奥村誠「自然環境を活かした生活と交通について」より一部改変)

《資料3》首都ヤクーツクの年間気温・降水量推移



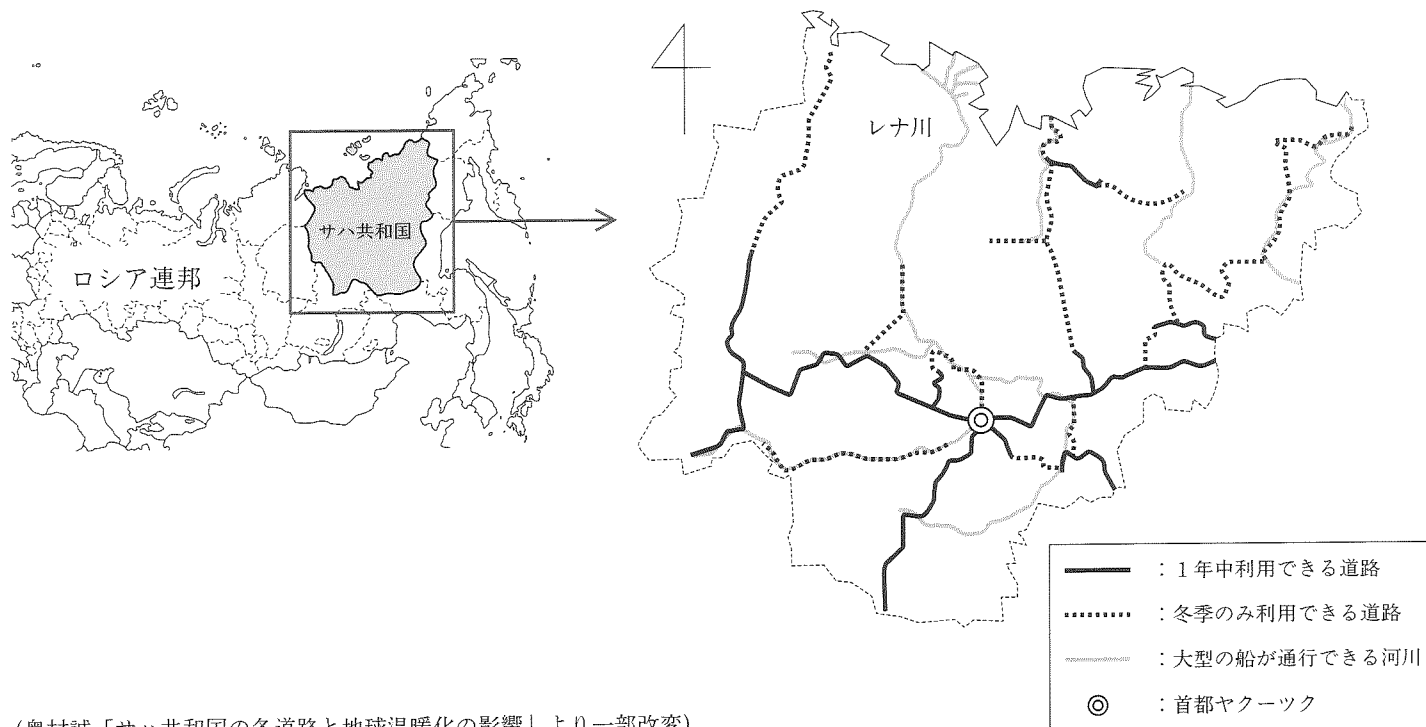
(「World Climate」より作成)

《資料2》冬季のレナ川



(東北大学奥村誠研究室ホームページより一部改変)
(<http://strep.main.jp/modules/myalbum/photo.php?lid=8>)

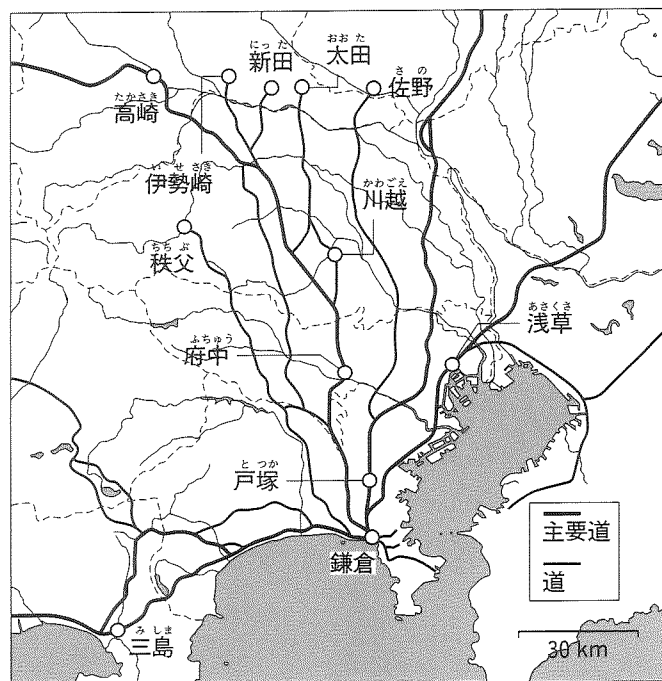
《資料4》サハ共和国のおもな河川・道路



(奥村誠「サハ共和国の冬道路と地球温暖化の影響」より一部改変)

問5. 下線部⑤について、鎌倉時代における「鎌倉への道」は、《資料5》のようであったと考えられています。この道が《資料5》のように整えられた理由について、当時の将軍と御家人との関係と、《資料6》に示された御家人の居住地の広がりについて、130字以内で説明しなさい。

《資料5》「鎌倉への道」



(『社会6』光村図書より)

《資料6》おもな御家人の居住地の広がり



(上杉和彦『源平の争乱』より一部改変)

問6. 下線部⑥に関連した以下の問いに答えなさい。

(1) 本文中の (X) にあてはまる地名を答えなさい。

(2) 右の絵は、江戸から「浦和宿」という宿場町に入ったところの様子が描かれた浮世絵です。街道前方には、噴煙を上げる山が見えます。この山の名前として適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 御嶽山 イ. 浅間山 ウ. 富士山 エ. 筑波山

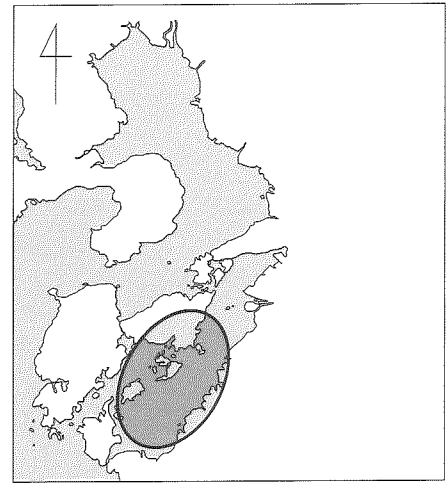


(『社会6』光村図書より一部改変)

問7. 下線部⑦について、日本の政治や選挙に関する次のア～オの文章から、誤っているものをすべて選び、記号で答えなさい。

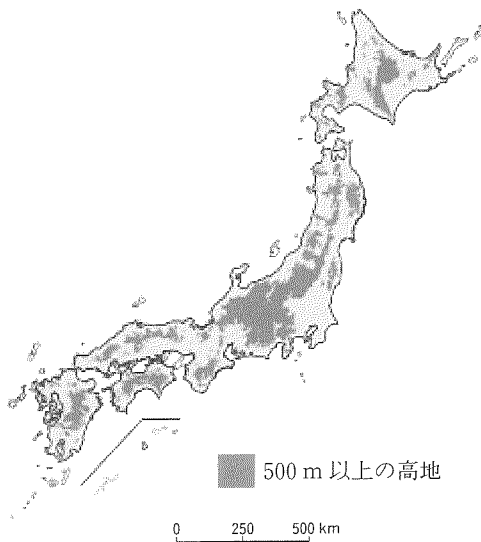
- ア. 国会議員の被選挙権は、衆議院議員は25歳以上、参議院議員は30歳以上の国民がもっている。
イ. 都道府県知事の被選挙権は、25歳以上の国民がもっている。
ウ. 今年7月に予定されている参議院議員選挙では、選挙で投票できる年齢がこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」へ引き下げられる。
エ. 選挙に立候補した者は、その選挙では投票することができない。
オ. 投票日に仕事や用事がある場合は、投票日前であっても投票を行うことができる。

問8. 下線部⑧に関連して、この時期は公害によって環境が破壊され、人々の健康がおびやかされるなどの問題が起きました。右の地図中の○を中心に発生した公害病と、その原因物質を答えなさい。

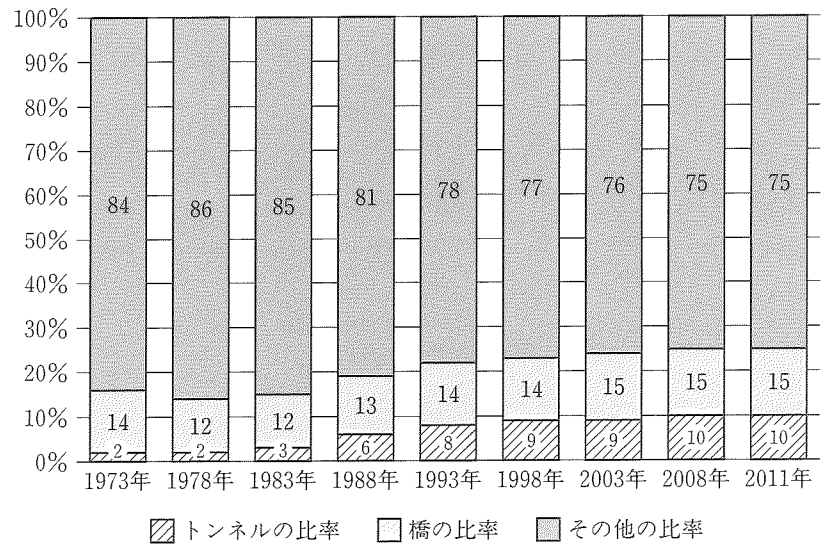


問9. 下線部⑨について、日本では、1970年代から現在にかけて新しく建設する高速道路ほど建設費が高くなっていきました。その理由を、本文や《資料7》・《資料8》・《資料9》から分かることをもとに、70字以内で説明しなさい。

《資料7》日本列島の500 m以上の高地の分布



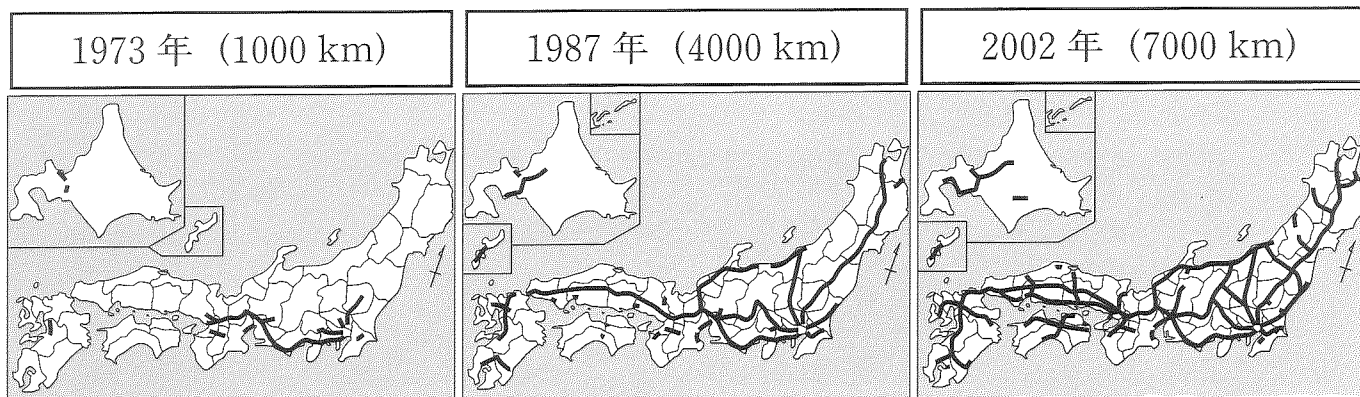
《資料8》1973～2011年の高速道路の構造物比率の推移



(一般財団法人国土技術研究センターホームページより)
(<http://www.jice.or.jp/knowledge/japan/commentary07>)

(NEXCO 東日本「高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会資料」より作成)

《資料9》1973年、1987年、2002年の高速道路の広がり と 総延長



(NEXCO 東日本「高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会資料」より)

